



ガールスカウトやまなし

NO13 2023年3月





連盟長 菊嶋 喜久江

状況が日々変動する中、常に予定通りに開催できるのか、オンラインに切り替えるのかという判断に迫られましたが、皆様に支えられすべての事業を実施できたことを感謝いたします。

小学生の事業では子供たちの笑顔と元気な姿を見ることができました。八ヶ岳に集った南関東地区の中学生は、「知る、考える、行動する」ということを軸に、自分たちの意見を「私のSDGs宣言」として社会に届けました。さらに全国の中学高校生が集ったインターナショナルキャンプでは、自然の中で意見を交わし、より広い世界にふれました。一方、成人の皆さまは、子供の活動に関わる中で多くの気づきから「共に育つ」ということを実感したのではないのでしょうか。

オンラインの活用では、その便利さを知るとともに、興味を同じくする人とのつながり、広い社会や世界とのつながりも生まれました。成人の方々にも県内外で多くの学びの場に参加頂き、つながりの広がりと可能性を感じられた事と思います。

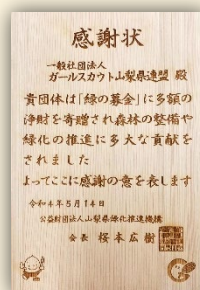
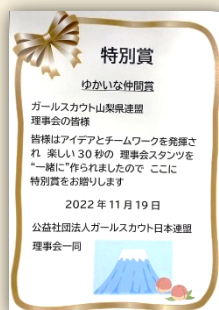
人と会う方法は変わりましたが、変わらないものがあります。それは「会うことの意味、会うことで生まれる人とのつながりの価値」です。人とのつながりやそこから得られる心の安定や自己肯定感、次へチャレンジする力を生みます。多様な人とのつながりを持ち、異なる意見の人と関わり、新しい価値観や世界を再発見すること、選択する力と選択肢を持つこと、これらは個人の幸福感と深く関わります。

これからの時代に必要とされることは「チャレンジする力、多様性を認め、自ら考え行動する力を持つこと」といわれています。まさしくガールスカウト活動で取り組み育んできたことです。これからも、仲間と楽しみ、つながり、可能性を広げていきましょう。そして、「すべての人が自分らしく生きることができる社会」になるよう取り組んでいきたいと思ひます。



理事会メンバー

連盟長	菊嶋喜久江	19 団
副連盟長	水口 晴美	2 団
副連盟長	渡辺とし江	3 団
会 計	田辺 清子	12 団
運営本部	甘利 玲子	1 団
教育活動	青木 優実	10 団
指 導 者	藤田 まや	9 団
監 事	丸山久美子	4 団



<左> 日本連盟 連盟長会議

紹介動画 “ゆかいな仲間”特別賞受賞

<右> 緑化森林機構からの感謝状



スカウトのつどいを終えて

実行委員長 田辺 清子

2022年10月30日（日）万力公園 万葉の森において、スカウトのつどいを晴天の下、開催いたしました。テーマ『みんな出ておいで！まんりきの森へ』には、山梨県連盟のスカウトが集まることの少なかった時期を乗り越えて、みんな外に出てきて集いましょうという思いが込められています。まだ感染予防の徹底は余儀なくされている中ではありますが、各団より参加していただき120人が集い、どんぐりパチンコ・秋の森クイズ・フクロウおばさんを作ろう・わたしの手ぬぐい作り・あつまれ！みんなの動物園クイズと、おなじみのブースに加え、初めてのブースをおもいきり野外で楽しむことができました。

また当日は、各団より協力を実行委員と一緒に、フレンズのメンバーにも準備、運営に加わって活躍



してもらいました。つどいを終えて、この3年間でオンラインの活用を促し、活動の方法が進化してきましたが、今回のようにみんなが野外で顔を合わせ、笑顔を並べて集うことの尊さを改めて実感いたしました。つどいの実施において多くの方のご理解と、御協力を頂けたことに感謝いたします。



南関東地区シニア部門事業

実行委員長 青木 優実

2022年10月9日（日）～10日（月・祝）2022年度南関東地区シニア部門事業を山梨県立八ヶ岳少年自然の家で開催しました。

山梨県連盟10人、神奈川県連盟2人、千葉県連盟8人、東京都連盟15人の計35人のシニアスカウトが参加し「自分のからだを知ろう、守ろう～もっとワタシのコトを好きになる♡～」のテーマのもと、自分のからだや生理に関する事や心の事について学び、意見交換を行いました。2日目には交流として、ポッチャやボルダリングなど初めてのスポーツに挑戦しました。

3年ぶりの対面での開催となり、どのスカウトも他都県のスカウトとの交流を楽しみながら活動していました。このテーマについて人前で話し合うことが初めてかと思いますが、パトロールのメンバーと話し合いを重ねるごとに理解を深めていることが見て取れ、とても有意義な2日間となりました。

それぞれが感じたこと・伝えたいことを30字以内でまとめたものを作成し、そのメッセージが「私のSDGs宣言」として山梨日日新聞に掲載されました。



『成人研修会』

リーダーは、子供たちとの活動に活かせるようチャレンジし続けます。Zoom 会議の主催の仕方、人権教育である包括的性教育や環境問題と平和について取り組みました。団の運営者の方々は、運営について広報活動など多方面からのアプローチの仕方を学びました。



『団運営者のための研修会』

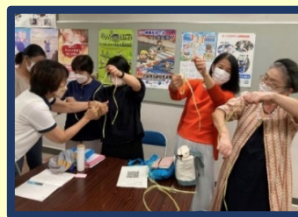


山梨県の各地域で活動する団運営者が、それぞれの役割と運営について学び、意見交換しました。学びの後は「団をまとめて大きなお花を咲かせてください」とコサージュ作りや「ガールスカウトがロープワークをする理由」について考えロープワークも体験しました。



リーダースクラブ

国中地区 5月 見える化・魅せる化・楽しむ化 9月 防災ライフハック



10月 秋の勝沼・ぶどう散歩



郡内地区 7月 Zoom のスキルを学ぼう



9月 日本探求



10月 楽しいよ 野外料理



県リーダースクラブ

白石ガラス工房
と
ギャラリー 民



ガールスカウト日本連盟 100周年記念 インターナショナルキャンプ



全国 7 会場に中高生約 600 人が集合。4 泊 5 日の宿泊体験活動をしました。
山梨県からは 2 会場に参加。自身に何ができるかを発見、SDGs 目標 5「ジェンダー平等の実現」の達成のために意見交換しました。

戸隠会場



2 団 菊島ほの花 (レンジャー2年)

戸隠で行われたキャンプに参加しました。一番印象に残っていることはキャンプファイヤーです。山梨県のメンバーでスタンツにエントリー、甲州弁のコンパクトなどを発表し、他県のハンドゲームを教えてもらい、とても充実した時を過ごすことができました。



12 団 田辺優里 (レンジャー1年)

今回のキャンプでは全国のスカウトの仲間と友達になれたことが一番楽しかったです。5 日間一緒に課題に取り組んだり、野外活動をしたり出来てとても楽しかったです。大勢でのキャンプファイヤーも最高の思い出になりました。

岩手山会場

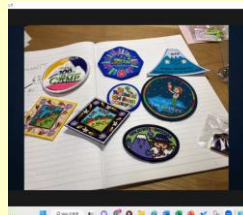


10 団 吉澤水優 (レンジャー3年)

シニアの3年間コロナ禍で県内のスカウトにも合うことが難しい状況でした。しかしインターナショナルキャンプに参加したことで後悔の無い3年間になりました。なかまとも出会い様々なことを学ぶことができました。



報告会



『たのしかった〜♡』の笑顔から始まった報告会。ひとりひとりが自分の考えをしっかりと報告しました。全国の仲間、世界の仲間とつながることで可能性は無限大です。

指導者養成講習 C (河口湖)

野外活動に必要な「ガールスカウトリーダー」の資格を 5 名の方が取得！

トレーナーの講義や言葉から学び、実践を通してスカウトの視点やリーダーとしての役割、リスク管理など 2 日間を通して学びました。野外活動の大切さを理解し、楽しく活動するという体験学習でした。今後の野外活動に活かしていきたいと思います。



各団の紹介

18団

廃油で石鹸作りは難しいなあ
分量大丈夫かな？



6団

ペグうちトントン



9団

2人のトナカイさんが飾り付け



4団

甲府駅北口よっちゃばれ広場の用水路の清掃



2団

みんなで踊って歌って秋祭り



1団

もみじでお耳



17団
 新しくなった北杜消防署へ!!
 消防士さんと一緒にポーズ!



12団
 初めて筆を持ちました



15団
 福笑い
 福のある顔できるかな?!



3団
 ペットボトルけん玉
 作りました



10団
 念願の戸隠キャンプ
 最高のカレー♪



19団
 やっぱりキャンプは楽しい!
 救急法&くん作りました



13団 生涯ガールスカウト

50周年を迎えて

第6団 団委員長 星野 豊子

私どもガールスカウト山梨県第6団は50周年を迎えました。昭和47年8月26日保坂春子団委員長のもと、ブラウニー23名、ジュニア34名、リーダー6名、団委員13名、計76名で発団しました。折しもその日は吉田の火祭りの日、赤々と燃える大松明にも似た、ガールスカウトの火が灯されたのです。



その日から50年、私どもの活動を温かく見守り、ご支援くださいました市行政機関をはじめ多くの方々のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後も、頻発する自然災害や様々な社会課題に向き合い、少女と若い女性がその可能性を最大限に発揮できる団活動でありますよう、願っています

受賞

第19団

2022年11月1日、多年にわたり青少年健全育成自主活動の推進に尽力した功績で、第19団が表彰されました。

青少年育成山梨県民会議 会長の立川様より、表彰状が授与されました。



ガールスカウト募集中!

～ホームページ、フェイスブック、インスタグラムはそれぞれ下のQRコードからお入りください～



発行 : ガールスカウト山梨県連盟 情報委員会

編集委員 : 小林千紗 (1団) 堀江朋夏 (2団)
市村史 (4団) 渡辺雅子 (10団)
渡邊美奈子 (15団) 大浦牧子 (17団)

<一社ガールスカウト山梨県連盟>

〒400-0811 甲府市川田町517山梨県立青少年センター内
Tel /Fax: 055-228-6637

E-mail: gs-yamanashi@ceres.ocn.ne.jp

(火・木 13:30~16:30 但し、月が祭日の翌日は休業)

『成人研修会』

リーダーは、子供たちとの活動に活かせるようチャレンジし続けます。Zoom 会議の主催の仕方、人権教育である包括的性教育や環境問題と平和について取り組みました。

団の運営者の方々は、運営について広報活動など多方面からのアプローチの仕方を学びました。



『団運営者のための研修会』

山梨県の各地域で活動する団運営者が、それぞれの役割と運営について学び、意見交換しました。学びの後は「団をまとめて大きなお花を咲かせてください」とコサージュ作りや「ガールスカウトがロープワークをする理由」について考えロープワークも体験しました。

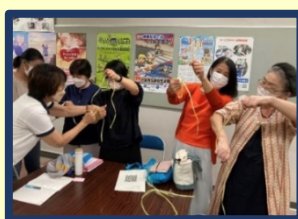


リーダースクラブ

国中地区 5月 見える化・魅せる化・楽しむ化



9月 防災ライフハック



10月 秋の勝沼・ぶどう散歩



郡内地区 7月 Zoom のスキルを学ぼう



9月 日本探求



10月 楽しいよ 野外料理



県リーダースクラブ

白石ガラス工房
と
ギャラリー 民

